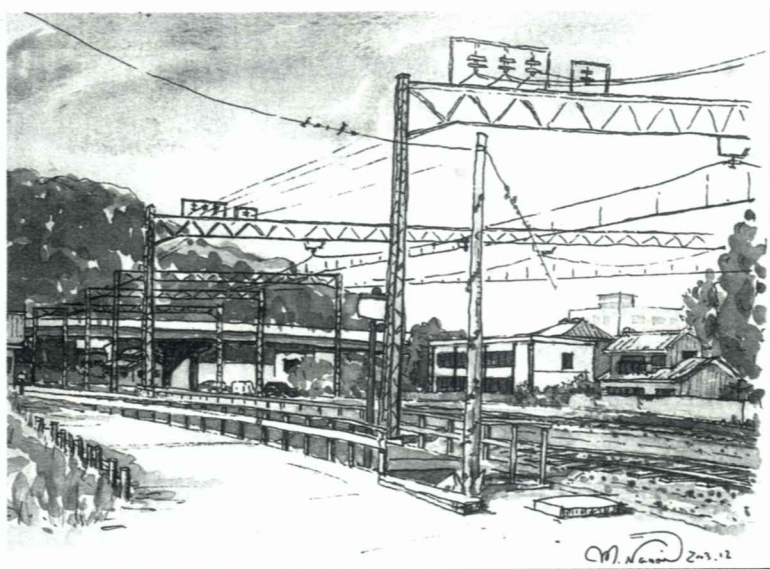




柏崎駅南口スケッチ



剣岳(富山県)



トリカブト

目次

- 会長挨拶 — 新年度にあたり —
- 躑口 (にじりぐち)
- お知らせ
 - ・会長の動向・事務局ダイアリー
 - ・新入会員のご紹介
 - ・講習会のお知らせ
 - ・退職金づくりは〔中退共〕で
- あとがき — 創ることの評価



社団法人 新潟県建築設計事務所協会

〒951-8131 新潟市白山浦1丁目614番地 白山ビル6F

TEL (025)265-4748 FAX (025)231-6553

URL <http://www.niaaf.or.jp/>

E-mail kjk15@niaaf.or.jp

新 年 度 に あ た り

会 長 藤 田 松 夫

引き続き会長を務めることになりました。
会員各位には変らぬご協力をお願い申し上げます。
一期目は7.13水害に始まり中越地震、そして構造計算書偽造事件と激動の2年間でありました。
二期目は平穏で落ち着いて協会の業務ができるよう念じております。

当協会の当面する緊急の課題は

1. 建築士法の抜本改正
2. 低価格入札

です。このうち建築士法抜本改正については、罰則強化など一部改正済みであります。抜本的な改正は社会資本整備審議会建築分科会基本問題部会で8月までにまとめる予定です。

上部団体の日事連は「管理建築士の責任・権限の明確化」「協会加入の義務化」の2点に絞って基本問題部会の審議や自由民主党建築設計議員連

盟を通じ実現に向け取組を強化しております。

低価格入札問題については昨年12月の理事会で現状からすれば、最低制限価格制度導入の要望に取り組む必要があるとの決定をうけ、検討会を立ち上げ検討した結果、5月30日に関根副知事、金子土木部長、6月5日に泉田知事にそれぞれ面会し制度導入の陳情を致しました。

知事から陳情の席で制度導入について検討する旨の返事をいただきましたが、最低制限価格制度導入のみで低価格入札問題が解決するとは思っていません。基本的には契約方法も含めた検討が必要と考えております。

当協会を取り巻く環境は厳しいものがありますが、山積する課題解決のため会員のご協力を得て着実に進める所存でありますので、よろしくお願い致します。

平成18・19年度の役員

会 長	藤 田 松 夫 (新潟市)
副 会 長	林 正 夫 (新潟市)
副 会 長	中 村 優 晴 (新潟市)
副 会 長	齊 藤 勝 (長岡市)
副 会 長	木 村 雅 俊 (上越市)
支部長(下越)	坂 本 忠 志 (新潟市)
支部長(中越)	佐 藤 正 勝 (長岡市)
支部長(上越)	山 本 英 世 (上越市)

下越支部長



坂 本 忠 志

中越支部長



佐 藤 正 勝

上越支部長



山 本 英 世

●理 事 (27名)

天 木 与 一 (新潟市)	林 正 夫 (新潟市)	齊 藤 勝 (長岡市)
石 動 竹 治 (新潟市)	福 地 利 明 (新潟市)	佐 藤 正 勝 (長岡市)
川 村 博 康 (新潟市)	藤 田 松 夫 (新潟市)	内 藤 幹 雄 (長岡市)
斎 藤 国 雄 (新潟市)	松 田 道 佳 (新潟市)	吉 田 武 彦 (小千谷市)
坂 本 忠 志 (新潟市)	石 川 一 夫 (柏崎市)	木 村 雅 俊 (上越市)
鈴 木 正 二 (新潟市)	小 川 政 之 (魚沼市)	高 波 信 夫 (上越市)
角 南 邦 彦 (新潟市)	甕 沢 松 男 (長岡市)	高 橋 伸 矢 (上越市)
遠 山 紀 芳 (村上市)	小 林 直 人 (長岡市)	山 本 英 世 (上越市)
中 村 優 晴 (新潟市)	熊 倉 高 志 (三条市)	常任理事：今 井 久 雄

●監 事 (2名)

関 本 準 一 (新潟市)
今 井 孝 一 (新潟市建築設計協同組合 常務理事)



躍 口 (にじりぐち)

上越支部

(株)サトコウ建材 分社長 植 木 教 雄



第6期同志会々長2年務める(株)サトコウ建材分社長植木教雄です。

当社は鉄鋼、建材、設備部門とあり、中でも一番建築に関連する屋根、外壁材等の商品販売に42年間携わっております。

昨年は、20年振りの豪雪に見舞われました。当部門は、気候風土に一番適した商品の開発と販売（R屋根・ピーチルーフ、ステンレス外装材・よろい）に力を入れております。「安くて、丈夫で長持ちで」がモットーで、自分自身納得の行く商品をお薦めしています。

最後に、自己紹介ですが、なりは小さいが心は大きく、自称声が洪くて、上越の石原裕次郎と言われています。どうかお逢いしたら気軽に声をかけてください。

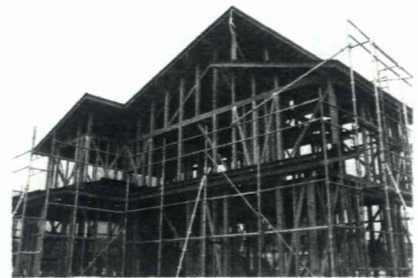
中越支部

「期待される越後杉へ」

(株)志田材木店 代表取締役 志 田 喜 弘



新潟県では昨年度、「越後杉で家づくり復興支援事業」（復興基金事業）を通じて震災復興と地域材の振興をあわせて計画し、当初の設定を大幅に上回る約400戸の実績を上げました。それまで一部に限られていた県産材の利用は、本事業では補助要件として設定され、素材生産から建築現場までの流れに大きな後押しとなり、被災地域の復興に役立つとともに環境保護・地域循環の取組みへの大きな一歩を踏み出しました。さらに今年、県では県産材の振興を被災地域に限らず、全県下で最大25万円の住宅補助事業「木の香る住まいづくり支援事業」を始めました。越後杉ブランド材は持続可能な地域循環の資源として、大きな期待が寄せられています。



下越支部

(株)たかだ 執行役員 景観事業部 部長 滝 沢 守



TeNY24時間テレビ「Let's 住マイル・ライフ 2006」のご案内

(株)たかだは、8月26・27日、新潟市産業振興センターで24時間TV「愛は地球を救う」の一環として、TeNY主催の「住宅総合イベント」を共催します。

多数のメーカー、県内各地の有力工務店等、総勢百数十社が、住まいについての総合提案を行います。木造戸建て住宅からマンションにいたるまで、住まいの事なら全てがわかる総合展です。楽しいイベントも多数！ 皆様のご来場お待ちしております。

賛助会員コラム欄の愛称：躍口(にじりぐち)とは…

「えちご一会」は「一期一会」をもじったものです。茶道の言葉なのでコラム欄も茶道関係がよからうと茶室への誘い→「えちご一会」への誘いと考え【躍口】といたしました。

正・賛助会員の皆様のコーナーです。奮ってご投稿をお願い致します。

お知らせ

●会長の動向●

4月13日(木)	第104回関プロ協議会(東京)
5月15日(月)	吉田六左門氏パーティー
5月16日(火)	建築確認業務改善検討委員会(3)
5月22日(月)	入札最低制限価格要望(星野いさお事務所訪問)
5月25日(木)	県建築住宅センター理事会
5月30日(火)	入札最低制限価格要望(県へ陳情)
6月5日(月)	入札最低制限価格要望(県知事陳情)
6月15日(木)	日事連会長会議・決算総会 日本建築士事務所政経研究会第31回臨時総会
6月23日(金) ~24日(土)	第105回関東甲信越ブロック協議会 (高崎市)
7月11日(火)	日事連全国会長会議(97)
7月27日(木)	日事連全国会長会議(98)
7月31日(月)	建築確認業務改善検討委員会(5)

●事務局ダイアリー●

6月1日(木)	第3回理事会・各委員会合同会議(懇親会)
6月13日(火)	組織小委員会(1)
6月22日(木)	組織小委員会(2)
6月27日(火)	「知っておきたい建築構造設計Q&A講習会」
6月29日(木)	組織小委員会(3)
6月30日(金)	日事連事務局会議
7月4日(火)	執行部会議
7月4日(火)	入札最低制限価格要望検討会
7月12日(水) ~28日(金)	公庫登録申請受付期間
8月7日(月)	公庫講習会(新潟コンベンションセンター)
10月6日(金)	建築士事務所全国大会(東京大会)

●新入会員のご紹介●

平成18年4月~6月までの入会員をお知らせ致します。

正会員

●中越支部

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
高 建 築 事 務 所	高 橋 英 夫	〒945-0821 柏崎市幸町3-25	0257-21-3165	0257-21-3164
新潟ハウジングサポートセンター	大 竹 靖	〒954-0124 長岡市中之島405	0258-66-0013	0258-66-7221

賛助会員

●下越支部

小松ウォール工業(株)新潟支店	大 淵 義 昭	〒950-0951 新潟市鳥屋野字中沼314	025-283-1595	025-283-1596
-----------------	---------	------------------------	--------------	--------------

●講習会のお知らせ

「建築士事務所の開設者研修会・管理講習会」 11月7日(火) 新潟ユニゾンプラザ、11月14日(火) ハイブ長岡

●退職金づくりは〔中退共〕で

中小企業において退職金制度を設けたい場合は、安全・確実・有利な国の退職金制度「中退共制度」なら手軽に作れます。企業として新しく中退共制度に加入した場合や、途中で掛金を増額した場合に国からの助成が受けられます。また、掛金は全額非課税扱いになります。

お問い合わせ先 独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部(中退共)
〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6 TEL 03-3436-0151(代表) FAX 03-3436-0400
<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp>

あとがき——創ることの評価

今年の5月30日の「日報抄」に記者時代の思い出として、県展書道部門審査員の中野北溟氏との出会いについての文書が掲載されていた。概要は次のとおりである。

取材を終えた後、一期一会の記念にとの軽い気持ちで安物の色紙に揮毫をお願いした。中野氏は色紙を手にするなり「これは練習紙にもなりませんね」「書は芸能人のサインでないのです」「私はこれで食べているのですよ。あなたの頼みは、居酒屋に入って酒をただで飲ませろと言っていると同じ」とたしなめられた。さらに「一枚の書を世に出すには何枚も捨てているのです」ととどめを刺された。しかし、中野氏の厚意により前に完成していた色紙をいただいたというものである。

当協会がかつて新潟日報の平成15年11月1日付けハウスメーカーを広告主とする紙面2面を使った「設計無料キャンペーン」に抗議したことがある。

抗議の理由は「設計は無料でできるような業務と誤解されかねず、設計を専業としている者からみれば営業妨害に等しい」ということであつた。

書家中野北溟氏もまったく同じことを指摘している。新聞記者も文章をしたためるには相当の時間と知恵を絞るだろうし、ある意味では文化を守らなければならない立場にある。その人からしてかつては他人の創造作品に対する認識がこの程度であつた。勿論「日報抄」の執筆者は反省を込めてのことであるだろうが。

「設計無料キャンペーン」の広告は平成16年にもあつたが、その時も抗議した。その後はなくなったが、協会の抗議によるものか確かめようがない。(常任理事 今井久雄)

えちご一会 2006. 夏 VOL.2

発行：平成18年7月

発行所：新潟県建築設計事務所協会

会長 藤田 松夫

編集：組織拡充委員会

委員長/中村優晴、副委員長/角南邦彦・志賀康治

委員/池田登実男・佐藤正勝・高橋伸矢・山本英世

表紙写真/藤田松夫氏撮影、表紙絵/永井正義氏作画